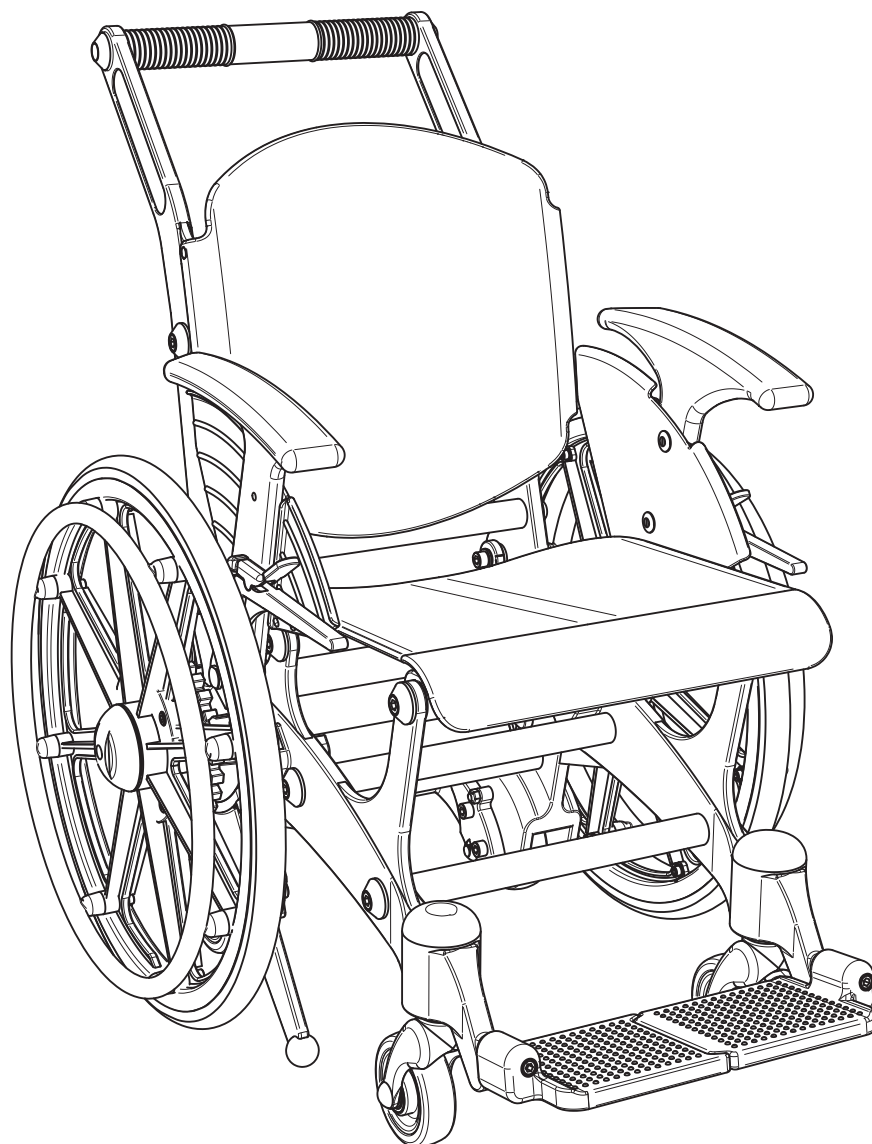


オール樹脂製車椅子

morph (モルフ)

取扱説明書

保存用
保証書付



愛の輪
愛のいす



MATSUNAGA

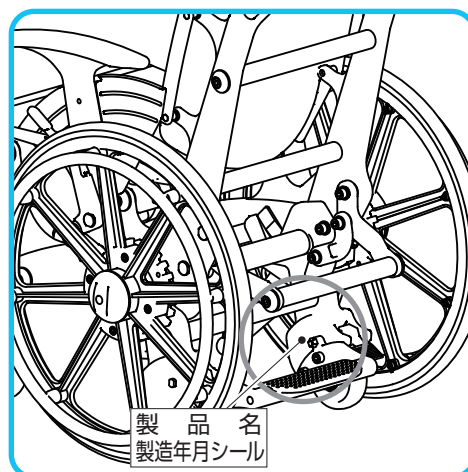
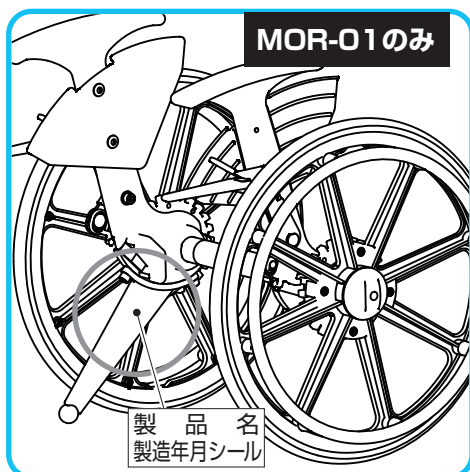
このたびは、(株)松永製作所の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や使い方が説明されています。

ご使用になる前には、必ずお読みください。

また、付属されている保証書は、紛失しないように大切に保管してください。安全にご使用していただくため、定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

購入された製品の機種名をご確認ください。
機種名は、下記位置に表示してあります。



- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

付属品



取扱説明書(当書)

目次

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)	2
寸法・機能一覧	4
各部の名称	4
ご使用方法	5
ブレーキの使用方法	5
フットサポートの使用方法	5
乗り方・降り方	6
動かし方	7
介助の仕方	8
外出時の注意	10
その他の注意	11
大車輪の着脱方法	12
もしこんなトラブルが発生したときは	13
車椅子のお手入れの方法	13
空気圧管理不要タイヤ メンテナンス方法	15
保守・点検	15
車椅子 点検シート	15
消耗品・交換部品	17

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく表示の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容を示しています。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容を示しています。



警告

(禁止)



- 故障、異常のあるときは、使用しないでください。
事故、転倒などによるケガの原因となります。
- 改造しないでください。
改造によって車椅子の部品の破損、脱落などで安全性が低下して事故、転倒の原因となります。
- フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、立ち上がらないでください。
車椅子がバランスを崩して事故、転倒の原因となります。
- アームサポートを持って、車椅子を持ち上げないでください。
転倒・転落事故の原因となります。
- 火気の近くに置かないでください。
車椅子の部品の破損、強度低下による事故の原因となります。
- シンナーや溶剤等の薬液を付着させないでください。
車椅子の部品の破損、強度低下による事故の原因となります。

(強制)



- 屋内でのみ使用し、屋外では使用しないでください。
車椅子の部品の破損、強度低下による事故の原因となります。
- 坂道の登り下りの時は、介助者の方が支えて行ってください。
スピードが出たり、バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 車椅子への乗降時及び、ベッドへの移乗時などは、駐車用ブレーキをロックしてください。
車椅子が動き、転倒事故の原因となります。
- 駆動輪を取り付けて使用する場合には、駆動輪が完全にロックされていることを確認してください。
駆動輪が外れ、転倒・転落事故の原因となります。
- 使用者が乗った状態で車載しないでください。
車載用に設計されておりませんので、車椅子が破損したりして、事故の原因となります。
- エスカレータで使用しないでください。
転倒・転落の原因となります。



注意

(禁止)



- バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。
車椅子が不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 駆動輪を取り外した状態で、アームサポート等に力を加えないでください。
破損の原因となります。
- タイヤを持って車椅子を操作しないでください。
ケガをする原因となります。
- 走行に際し、ご自分の力で減速・静止できるスピードでゆっくりと操作してください。
スピードを出すと、転倒・衝突・転落事故の原因となります。
- 介助者の方は、ご自分の力で減速・静止できるスピードでご使用ください。
制動ができず、転倒・転落事故の原因となります。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。
バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 車輪に、身体の一部を差し込まないでください。
手や指を挟んで、ケガをする原因となります。
- バックサポートのみで、キャスト(前輪)を上げないでください。
バックサポートが破損するなどし、転倒事故の原因となります。
- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。
使用者が車椅子から転倒して、事故の原因となります。また破損の原因となります。
- 車椅子を横向きにして、上に物を置かないでください。
故障の原因となります。
- バックしながら急停止しないでください。
事故の原因となります。
- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使わないでください。
バランスを崩し、転倒事故の原因となります。また破損の原因となります。
- 使用者の移動目的以外では使用しないでください。

(強制)



- 左右のフットサポートが連結ロックしていることを確認してから、使用してください。
転落事故の原因となります。また破損の原因となります。
- 乗り降り、駐車は平坦な場所で行ってください。
車椅子が動いたりして、バランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。
- 坂道を下るとき介助者の方は、車椅子を後ろ向きでゆっくり確認しながら走行してください。
前向きで下ると、使用者がずり落ちたり、前のめりとなり、転倒・転落事故の原因となります。
- 介助者の方は、移動中に使用者のつま先が障害物に当たらないように、確認してから走行してください。
- 安全ベルトを締めて、走行してください。
転落事故の原因となります。
- 車椅子を自動車に載せる(降ろす)際は、車椅子に大きな衝撃を与えないよう、
ゆっくりと静かに降ろしてください。
車椅子の破損や故障の原因となります。
- エレベータ等の隙間にキャスト・駆動輪が落ち込まないように注意してください。
また落ち込んだ場合には無理に自力で脱出しようとせず、介助者に支援を要請してください。
車椅子が急に止まり使用者の体が前方に傾き、転倒・転落事故の原因となるほか、破損の原因となります。

寸法・機能一覧

機 種		キャスト (インチ)	後車輪 (インチ)	前座高 (mm)	後座高 (mm)	シート幅 (mm)	アームサポート高 (mm)	バックサポート高 (mm)	フット長※ (mm)	全 長 (mm)	全 高 (mm)	全 幅 (mm)	重 量 (kg)	使用者最大体重 (kg)
MOR-01	自走モード	4	22	475	410	400	220	450	350	910	910	650	28.5	100
	介助モード	4	4	470	400	400		450	350	930	890	424	16.0	100
MR-MOR		4	4	470	400	400	220	450	350	930	890	530	17.9	100

※フット長:フットサポートシート間距離。 ◎改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

機 種	タイプ	バックサポート	アームサポート	フット・レッグサポート	ブレーキ	
			機 能	機 能	駐車用	制動用
MOR-01	自走／介助	固定	着脱	固定	専用	なし
MR-MOR	介助	固定	固定	固定	専用	なし

各部の名称

自走用標準形・介助用標準形

バックサポート

背をもたれかけるところです。

バックサポートフレーム

アームサポート

肘を置くところです。

大車輪(駆動輪)

駆動を伝える車輪です。

ハンドリム

自走用で駆動輪を操作するとき、使用します。

駐車用ブレーキレバー

乗り降りの時、車椅子が動かないようにするために使用します。

グリップ

介助者が押すために使用します。

安全ベルト

シート(座)

座るところです。

フットサポート

足を乗せるところです。

キャスト(前輪)

大車輪着脱リンク

駆動輪を固定する機構部です。

大車輪着脱レバー

駆動輪を着脱する際に操作する部分です。

キャスト(後輪)

駆動輪を取り外したときに使用します。

ポケット

ポケット耐荷重:500g

ティッピングプレート

キャストを上げたりするため介助者が足で踏むときに使用します。

キャストブレーキ

駆動輪を取り外した状態で乗り降りの時、車椅子が動かないようにするために使用します。

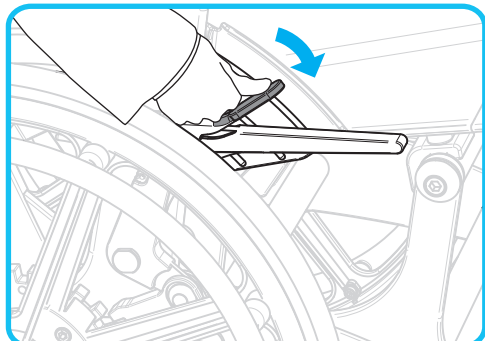
※図はMOR-01(自走モード)です。

ご使用方法

ブレーキの使用方法

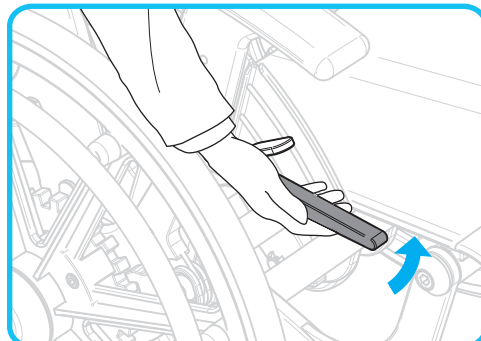
大車輪用駐車ブレーキの使用方法

MOR-01 (自走モード)のみ



■ロックの場合

上のブレーキレバーを矢印方向に押すとロックします。
この時「カチッ」と音がするのを確認してください。

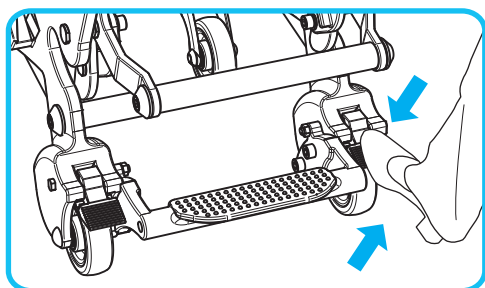


■解除の場合

下のブレーキレバーを矢印方向に引くと解除します。
この時「カチッ」と音がするのを確認してください。

小車輪用駐車ブレーキの使用方法

MOR-01 (介助モード), MOR-02



■ロックの場合

左右のブレーキペダル(オレンジ)を踏むとブレーキがかかります。
左右両側ともかけてください。

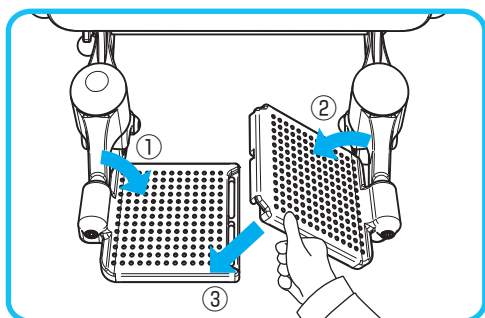
■解除の場合

左右のブレーキペダル(オレンジ)を上げると解除されます。
左右両側とも解除してください。

⚠ 注意

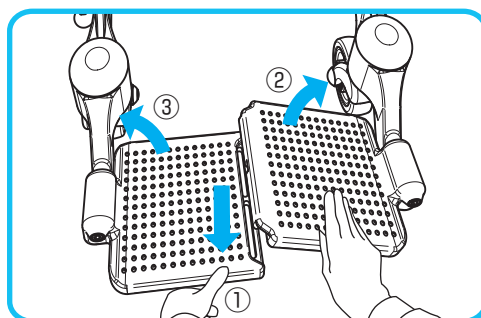
●必ず車輪がロックして、車椅子が動かないことを確認してください。
(車椅子が動き、転倒・転落事故の原因となります。)

フットサポートの使用方法



■フットサポートを降ろす場合

介助者から見て左側①から先に降ろします。
次に、介助者から見て右側②を降ろし、溝にはめます。



■フットサポートを上げる場合

介助者から見て左側①の矢印部分を押しロックを解除します。
次に、介助者から見て右側②を上げます。
最後に、介助者からみて左側③を上げます。

⚠ 注意

●フットサポートの使用時に、左右のフットサポートがしっかり固定されているか確認してください。

乗り方・降り方

下記乗り方・降り方は、一例です。



警告

●車椅子に乗る・降りる前や、ベッドへの移乗時には、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。
(車椅子が動き、転倒・転落事故等の原因となります。)

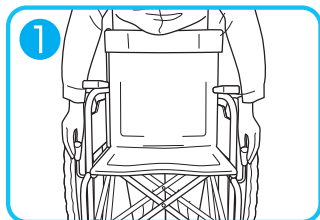


注意

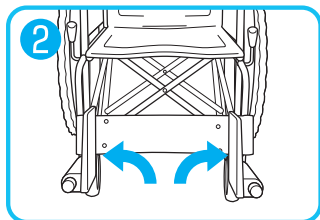
●車椅子の乗り降りは、路面の平坦な場所で行ってください。
(車椅子が動いてバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。)

乗る時

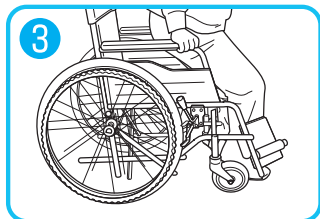
① 駐車用ブレーキを両側ロックします。



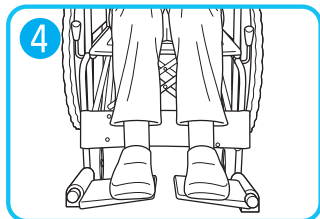
② フットサポートを両側上げます。



③ 両手で、アームサポートを持ち
ゆっくり座り込みます。

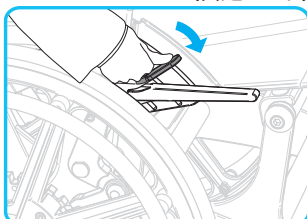


④ フットサポートに足を乗せます。

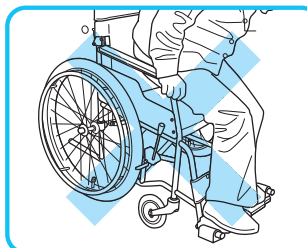
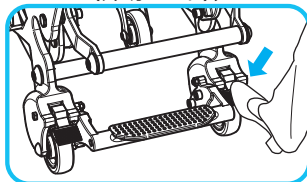


駐車用ブレーキ

MOR-01 (自走モード)

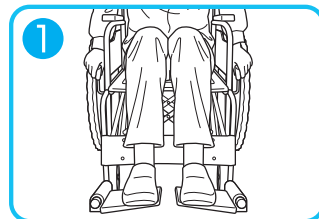


MOR-01 (介助モード), MOR-02

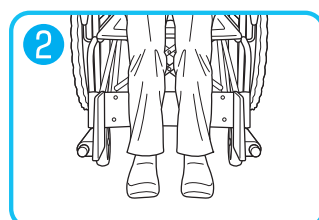


降りる時

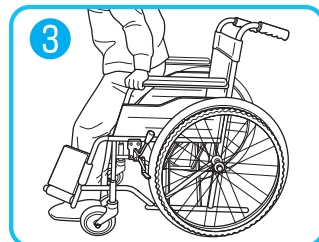
① 駐車用ブレーキを両側ロックします。



② フットサポートを上げ、足を下ろします。



③ 両手で、アームサポートを持ち
ゆっくり立ち上がります。



警告

●フットサポートの上に乗って乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。
(車椅子がバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。)



警告

●乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。
(レバーが変形・破損し、転倒する恐れがあります。)



警告

●乗り降りの際に、上げたフットサポートに足が当たらないように注意してください。
(けがをする恐れがあります。)



注意

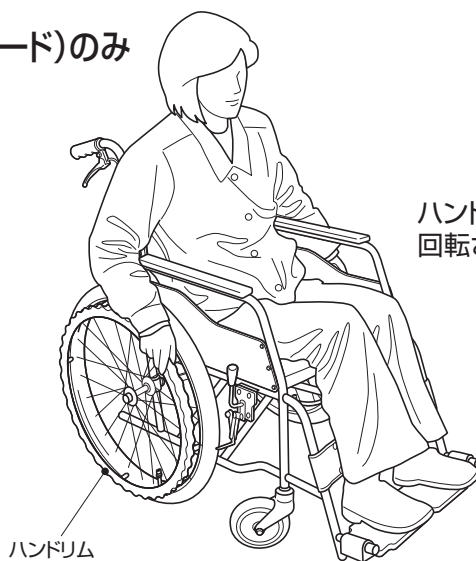
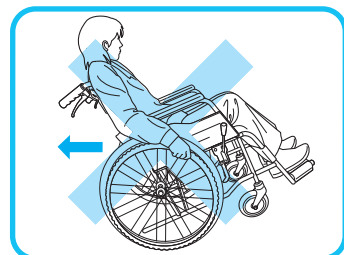
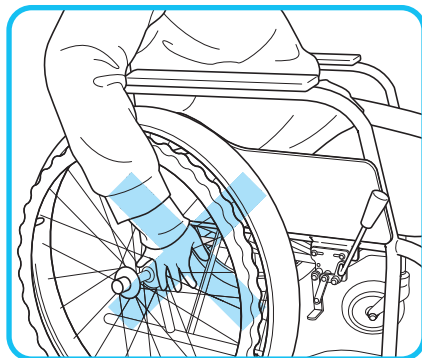
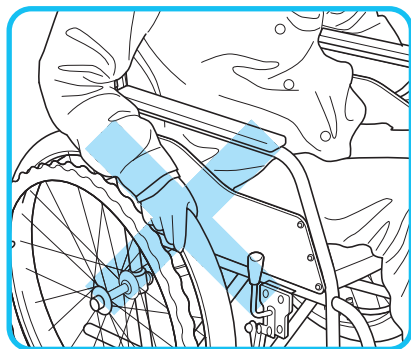
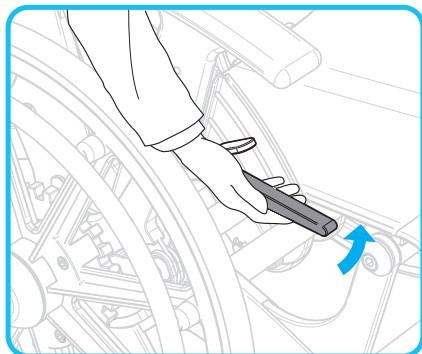
●フットサポートを足で上げる場合は、素足では行わないでください。
(けがをする恐れがあります。)

動かし方 MOR-01(自走モード)のみ

一般的な動かし方

(自走用車椅子の場合)

駐車用ブレーキを両側解除する。



ハンドリムを握り車輪を
回転させ移動させる。



注意

- タイヤを持って車椅子を操作しないでください。
(ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。)



警告

- 走行スピードは各自コントロールできる速度で走行
してください。



警告

- 駐車用ブレーキで減速しないでください。
※減速はハンドリムにて行ってください。
急にロックがかかります。



警告

- 走行中、身体を乗り出さないでください。
(バランスが不安定になり、転倒・転落事故の
原因となります。)



注意

- 車輪に、体の一部や物を差し込まないでください。
(手や指をはさんで、ケガをする原因となります。)



注意

- バックしながら急停止しないでください。
(転倒事故の原因となります。)



注意

- フットサポートの下には足を入れないでください。
(足を地面でこすったり、フットサポートやキャストなどに足を
ぶつけてけがをする恐れがあります。)

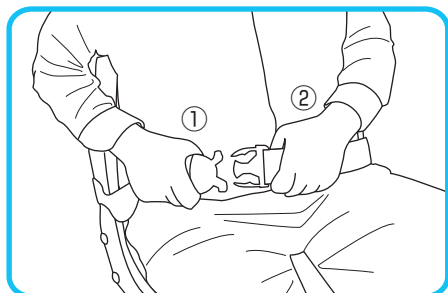


注意

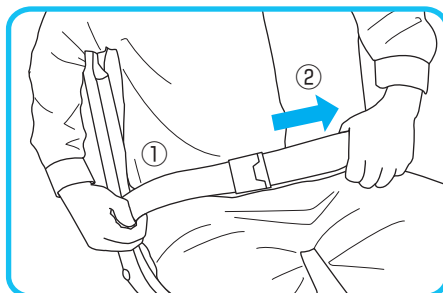
- 足こぎで操作される場合、フットサポートに足をぶつけないで
ください。(けがをする恐れがあります。)

シートベルトの使用方法

※車椅子の使用時はシートベルトで固定してください。



右側①と左側②のバックルを「カチッ」と音がる位置まで差し込んで固定してください。
※短い場合は、右側②のベルトを伸ばしてください。



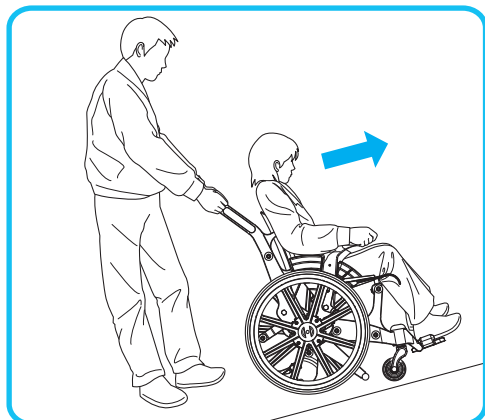
右側②のベルトの端部を引いて、搭乗者に合わせてください。

介助の仕方

次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者の方が付き添ってください。介助者が付き添っていない場合は周りの人に介助をお願いしてください。

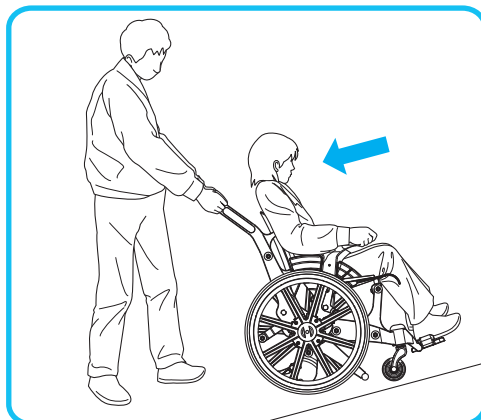
- ・坂道
- ・乗り物への乗車、下車
- ・段差乗り越え
- ・傾斜している路面

坂道の登り操作方法



介助者は前進で、ゆっくりと走行してください。

坂道の下り操作方法



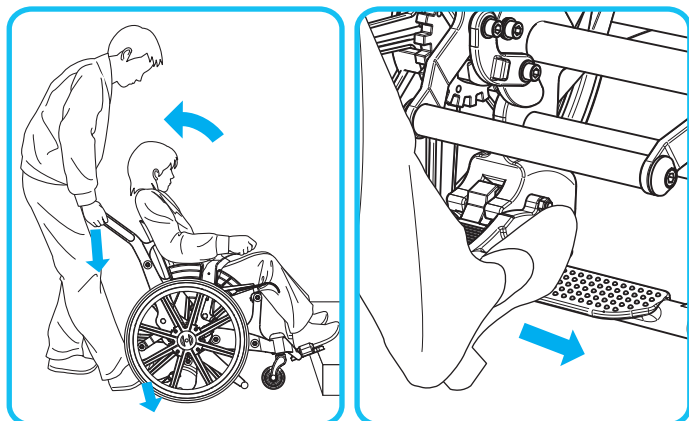
介助者は車椅子を後ろ向きで、ゆっくり後方を確認しながら走行してください。



注意

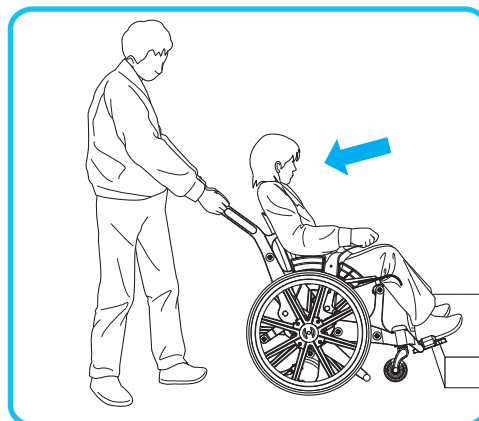
- 坂道の登り下りでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいて行ってください。
- 坂道を前向きで下ると、搭乗者がずりおちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因となります。

段差の登り操作方法



ティッピングプレートを踏みながらグリップを手前に引いてキャストを上げ、後輪が段差に接したら、乗りこえてください。

段差の下り操作方法

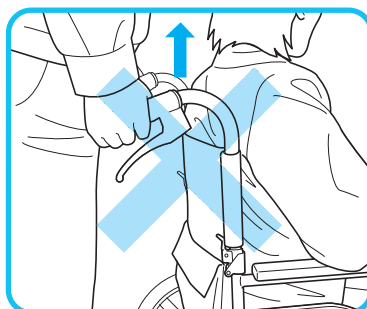
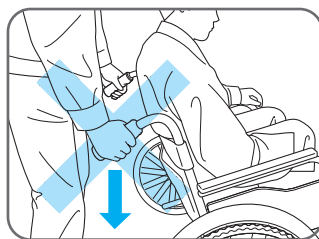
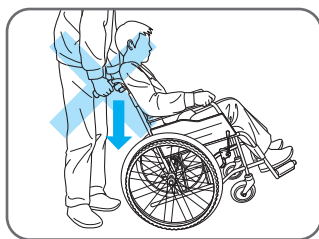


介助者は車椅子を後ろ向きで、ゆっくり後方を確認しながら走行してください。



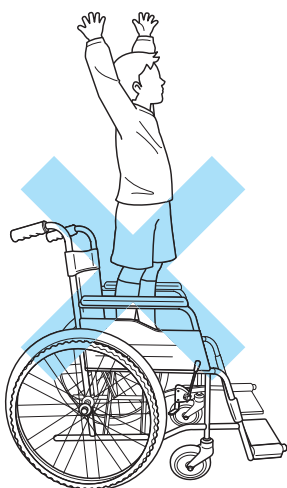
注意

- グリップのみで、キャストを上げないでください。(後方に転倒して、事故の原因となります。)
- スピードをつけて、段差を乗り越えないでください。(搭乗者が転落して、事故の原因となります。)



注意

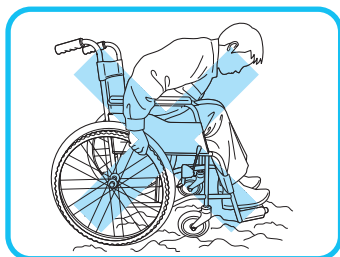
- 使用者が車椅子に乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。(パイプが外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。)



警告

- 車椅子のシートの上で立ち上がらないでください。
(転倒事故の原因となります。)

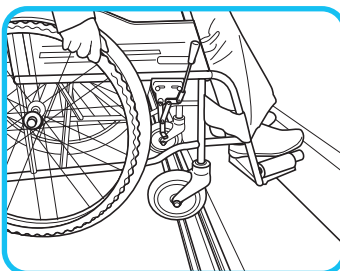
外出時の注意



注意

- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。
(バランスを崩し、前に転倒して事故の原因となります。)

介助者援助をお願いしてください。



警告

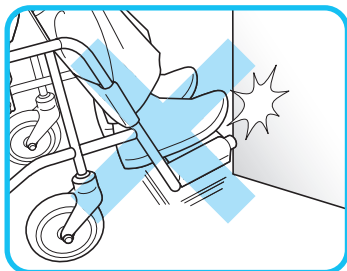
- エレベータの溝やスロープでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいて行ってください。
(車輪が溝にはまって転倒事故の原因となります。)



注意

- エレベータの溝にキャストが落ち込まないように注意してください。
(車椅子が急に止まり使用者の体が前方に傾き、転倒・転落事故の原因となります。)

【介助者の方へ】



注意

●移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。



注意

●フットサポートに、足が乗っているか確認して走行してください。

車椅子を持ち上げようとして次のような箇所は、持たないでください。

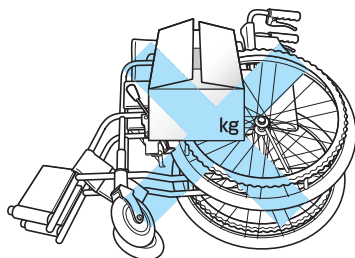
- ・バックサポートパイプ部
- ・アームサポート部
- ・フット・レッグサポート部
- ・車輪
- ・ブレーキ部
- ・着脱レバー



■階段などで、使用者が乗ったままの状態、介助者に吊り上げてもらう場合

ベースパイプ・バックサポートの固定されている箇所を持って、4～5人で支えてもらってください。

その他の注意



注意

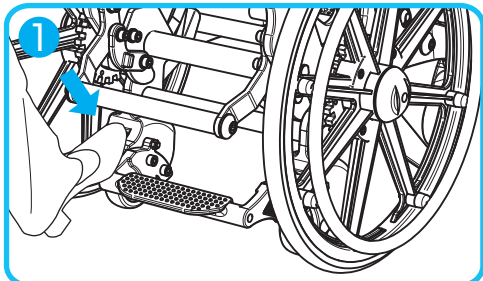
●車椅子を横向きに倒して、上に物を置かないでください。
(重みで車輪フレームが曲がったりして、故障の原因になります。)

大車輪の着脱方法

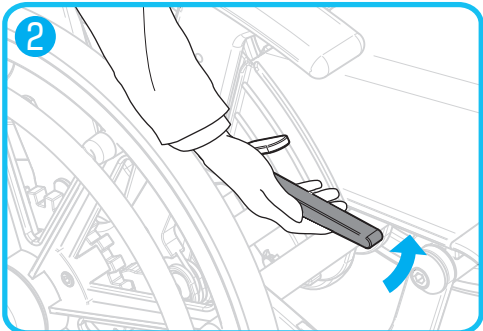
MOR-01のみ

大車輪の取り外し方法

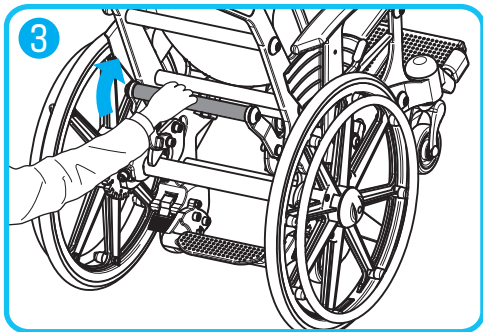
- ① 小車輪用駐車ブレーキをロックしてください。



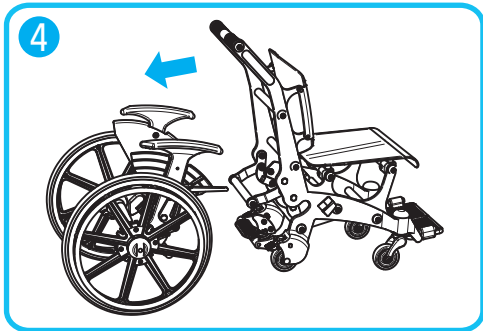
- ② 大車輪用駐車ブレーキを解除してください。



- ③ 大車輪着脱レバーを引き上げてください。

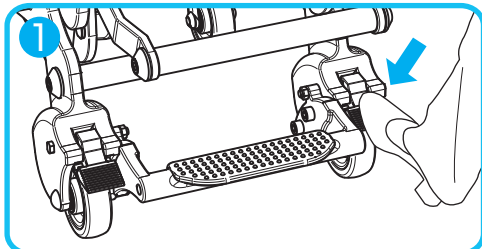


- ④ 大車輪を外してください。

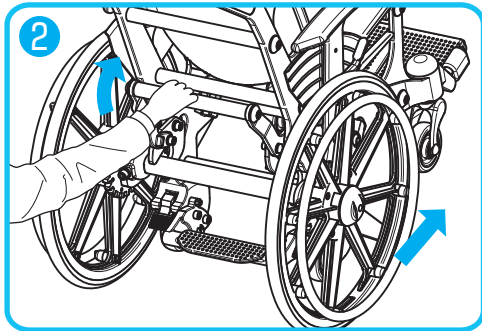


大車輪の装着方法

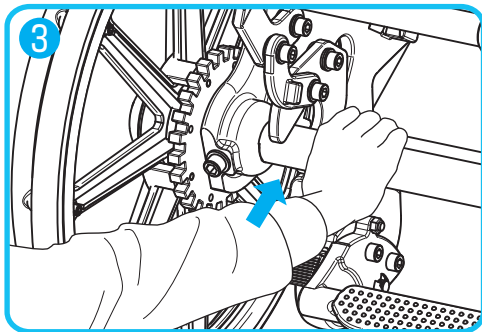
- ① 小車輪用駐車ブレーキをロックしてください。



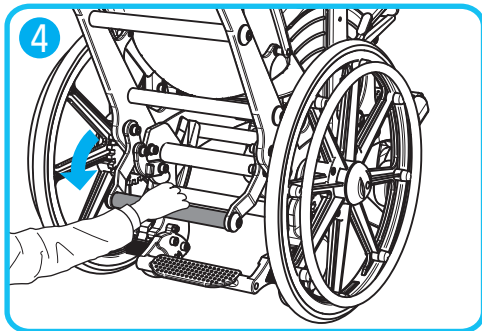
- ② 大車輪着脱レバーを引き上げながら、大車輪を本体に挿入します。



- ③ 大車輪を着脱リンクの溝に入れてください。



- ④ 大車輪着脱レバーを下げてください。
この時、「カクン」となるまで押し込んでください。



警告

- 大車輪を着脱する際に振動が発生します。必ずシートベルトを着用してください。
- 大車輪を着脱する際は、小車輪用停車ブレーキをロックして、必ず平らな場所で行ってください。
- 大車輪を装着した後はブレーキがかかっていませんので、車椅子が動かないように注意してください。
- 大車輪を取り外した際は、大車輪と車椅子本体は完全に切り離されます。大車輪の紛失にご注意ください。

もしこんなトラブルが発生したときは

車椅子をご使用されていて「故障かな」と思うトラブルが発生したら、修理を依頼するまえに下記項目を確認してください。

ト ラ ブ ル	確 認 点	対 処
走行操作が重い	・駆動輪・キャストに髪の毛、ビニール等が巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	・キャスト(前輪)が片べりしていませんか	取扱店にご連絡してください
ブレーキが効かない		取扱店にご連絡してください

車椅子のお手入れの方法

■清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。

揮発性剤(シンナー・ベンジン・アルコール類)では、清掃しないでください。
変色したり、劣化の原因となります。

■タイヤには、ひび割れを防ぐ為に劣化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。

- オゾン(O₃)
- 光線(紫外線)、熱・伸張等の機械的作用
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質
- シリコン系ワックス(自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤(錆落とし剤含む))

■車椅子に異常がある場合は、取扱店で、点検・修理を行ってください。
そのままの状態で使用されますと、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤ・キャスト輪の劣化・ひび割れ
- 各部固定部品の変形
- ボルト・ナット・ビスの緩み
- フレームのひび割れ・曲がり・ガタツキ
- 駆動輪・キャストの変形
- 駐车用ブレーキの効き具合

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

●雨に濡れるところ ●直射日光が当たるところ ●湿気の多いところ ●高温になるところ(45度以上) ●炎天下

保証

●保証期間は、お買い上げ後1カ年です。(本体、付属品共)

ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。修理に要する運賃等の諸経費を含みます。

1. 火災、天災による故障・損傷の場合
2. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取り扱いによって発生した故障の場合
3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
4. タイヤの摩耗、シートのやぶれ、ブレーキ、キャスト、各部ベアリング等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合

●この保証書は日本国内のみ有効です。

●保証修理をお受けになる場合は、必ず保証書をご提示ください。

保証書の提示がない場合には、保証修理をお受け致しかねます。

●保証書はお買い上げ店で発行致します。記入漏れがありますと、保証期間内でも保証修理が受けられません。

●保証書の再発行は致しません。大切に保管してください。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買い上げいただきました販売店、または松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

空気圧管理不要タイヤメンテナンス方法

安全にご使用していただくため、次の確認をお願いします。

- ・タイヤ表面の摩耗・亀裂。
- ・スムーズな回転、異音 等。
- ・車輪のホイールの傷の有無。
- ・駐車用ブレーキでロックした際、駆動輪・主輪は回転しないか。

※空気圧管理不要タイヤの交換目安は、お買い上げ後2カ年です。
(使用環境、使用頻度、使用状況による。)

※空気管理不要タイヤには、ウレタン素材を使用している物があります。
この素材は、水と反応し分解する(加水分解)性質があり、その結果タイヤのヒビワレ、
表面の剥離など発生する場合があります。メンテナンスの際には、十分に水分を拭き取ったあと
風通しの良い日陰でよく乾燥させてください。(直射日光は避けてください。)

※保管時にも、高温多湿、雨、直射日光に注意してください。

保守・点検

車椅子 点検シート

安全にご使用していただくために、ご自身・お買い求めの販売店(有料)で定期的に点検をして
いただくようにお願いします。

(長期間ご使用にならなかった場合は、ご使用前に点検をしてください)

点検の結果、異常があった場合はご使用にならず、調整・部品交換をしてからご使用ください。

点検項目		年 月 日 点 検 者					
キャスト(前輪)	亀裂・キズの有無						
	キャストの摩耗						
	スムーズな回転						
キャストフォーク	損傷の有無						
	スムーズな旋回						
	タイヤの摩耗						
駆動輪・主輪	スムーズな回転						
	ホイールのキズの有無						
	大車輪の着脱						
	各部キズの有無						
本体	ボルト・ナットの緩み						
	スムーズな折りたたみ						
	ブレーキの効き						
駐車用ブレーキ	シート						
バックサポート (背もたれ)・シート	シートの破れ・損傷						
	シート固定ネジの緩み						
フットサポート	プレートの破損						
アームサポート	固定ボルトの緩み						
	パッドの破損						
その他							

[illegible]

消耗品・交換部品

それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。

品名	交換時期
駆動輪・主輪	タイヤが扁平する程摩耗したとき
キャスト	タイヤが扁平する程摩耗したとき
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき ひどく汚れたとき マジックテープの接着が弱くなったとき



株式会社 松 永 製 作 所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484

TEL 0584-35-1180 (代) FAX 0584-35-1270

URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>